

審議会等の会議結果報告

1 会議名	令和5年度第2回津市図書館協議会
2 開催日時	令和6年2月16日（金） 午前10時30分から午前11時30分まで
3 開催場所	津図書館 2階視聴覚室
4 出席した者の氏名	（津市図書館協議会委員） 入江 知子、岡山 公英、岸 富喜、木原 剛弘、 林 佳織、洞口 正子、山下 恵子、和気 尚美 （事務局） 教育長 森 昌彦 教育次長 小宮 伸介 教育研究支援課長 堀内 晋三 津図書館長 米山 浩之 津図書館管理担当主幹 佐野 隆之 津図書館奉仕担当主幹 山口 理絵 津図書館奉仕担当主幹 中澤 利美 津図書館主査 鏡 凌太
5 内容	1 あいさつ 2 報告事項 （1）令和5年度事業経過について （2）アンケート結果中間報告について 3 その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	0人
8 担当	教育委員会事務局津図書館管理担当 電話番号 059-229-3321 E-mail 229-3321@city.tsu.lg.jp

議事の内容 下記のとおり

事務局

お待たせしました。定刻となりましたので、ただいまから令和5年度第2回津市図書館協議会を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。それでは開催にあたり、教育長からご挨拶を申し上げます。

教育長

おはようございます。大変お忙しい中、ありがとうございます。今日は非常に風が冷たくてですね、ちょっと寒い日です。学校からの連絡を聞いていますと、またインフルエンザ、コロナがちょっとおさまり加減に、今度はまたインフルエンザ、しかもAとBも両方罹ってしまうこともあるんですね。とにかく学校は大変お忙しいですが、またお身体の方、私自身も含めましてそのあたり十分注意しながら、本日もよろしく願いしたいなと思います。

今回も津市図書館協議会ということで、ずっと開催させていただいておりますが、何のためにしているのか、自分なりに少し最近すごくはっきりしてきたと思っていて、図書館で普通に考えると本が置いてあって、たくさんの人に読んでもらいたい、ということなんですけど、ただ最近はそれだけではなくてですね、いろんな方の居場所、憩いの場所、特に目指すのはヤングアダルトと言われる方にもっと来てほしいとか、或いは小さなお子さんを連れた方なんかが、もっと来やすくなる図書館だったらいいな、或いは単に来てもらうだけではなくて、今はもうデジタル化ですのでも来なくても、本に親しんでもらえるような図書館のあり方、新しい図書館に向けていろんなことを考えていくべきことがたくさんあるし、考えていくと面白く夢が広がる気持ちを持ちながら、この協議会に望ませてもらっています。

また今日はですね、アンケートを取らせていただきましたので、前回は簡単なことでしたが、今回はある程度突っ込んだ分析もしながらですね、アンケート結果の報告もいたしますので、是非ですねこれからの図書館、特に市内の図書館、これを新しくするのはなかなか現実的に難しいんですけども、それが無理なら、もっとソフト面を工夫することがあるのではないかと思いますので、色んな忌憚のない意見をいただけると有難いなと思います。本日はどうかよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

ここで、本日の出席者数をご報告いたします。

委員10名中、8名の方が出席いただいております。

尚、安部委員、伊藤委員におかれましてはご欠席です。

よって、津市図書館協議会条例第5条の規定による、会議成立の条件である委員の半数以上の出席を満たしておりますので、当会議が成立していることをご報告申し上げます。

また、この会議につきましては津市情報公開条例第23条により、これを公開としております。

同様に、会議録につきましても、後日公開をいたしますことから、ご覧のとおり会議内容を録音しております。

よろしくご了承賜りますようお願い申し上げます。なお、本日の傍聴者は、ございません。

配付資料の確認をいたします。

事項書

協議会委員名簿、事務局職員名簿

資料1 令和5年度テーマコーナー・資料展示

資料2 令和5年度津市図書館行事結果一覧

資料3 令和5年度事業報告

資料４－１～５

暮らし役立つ図書館講座など事業関係資料５種類

資料５ 津市図書館利用に関するアンケート中間報告

申し訳ございませんが、事前にお送りさせていただきました資料につきまして、資料５の一部に誤りがありましたので、修正した資料５も含めて一式ご用意させていただきました。よろしくお願いいたしますします。以上になります。不足している資料はございませんでしょうか

それでは、事項書２以降の議事の進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたしますします。

それでは、事項書に沿って進めていきたいと思います。

まずは、事項書２ 報告事項(1)の令和５年度事業経過について、事務局の方から説明をお願いします。

令和５年度の事業につきましてご報告させていただきます。

資料１、２については令和５年度のテーマコーナー・資料展示と行事結果の一覧となります。一部をご紹介しますいただきます。

資料１のテーマコーナー・資料展示ですが、季節に合わせた内容や受賞作品を集めるテーマコーナーのほか、久居ふるさと文学館では、お隣のアルスプラザでのイベントの内容に合わせた図書の連携展示を実施して利用促進を図っています。

資料２の行事結果一覧ですが、津図書館では、１０月２８日（土）には、津図書館の講演会として、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の川北志朗（かわきたしろう）さんをお招きし、「キミのとなりにある宇宙」と題して身近に活用される人工衛星技術についてお話いただきました。チラシは資料４－２になります。宇宙に関する仕事をめざす高校生から宇宙に関心のある大人まで４３名にお集まりいただき、講演会終了後も多くの方が川北さんに直接質問をされていたことから関心の高さが伺えました。また、久居ふるさと文学館では１月７日（日）に「楽しい読み聞かせ講座～ようこそ落語の世界へ～」を開催し、落語絵本の読み聞かせについて１８名の参加者が教えていただきました。

続きまして、資料３として、図書館要覧に掲げました令和５年度事業の重点目標について、その内容や成果、今後の方針などについて報告いたします。

まず、図書館アンケートにつきましては、詳細は後ほど報告させていただきますが、６月から７月にかけて実施し、図書館だけでなく Web から回答できるようにしたり、図書館を利用されない方の意見も求めています。

アンケートは最終的に２、１８９件の回答があり、多くの方の意見を聞くことができました。話題の本などを充実することを望む声もありましたが、電子図書館や飲み物や会話のできるスペースを望む声もありました。

次にＩＴ技術を利用した効率的な取り組みについては、先ほどの Web を使った回答方法の他に、レファレンスについて、調べもの相談として専用のフォームを設ける予定です。その他津市のオンラインサービスの Logo フォームの活用した登録などを行っています。

裏面をお願いいたします。ここでは重点目標以外で図書館として重要な事業の取り組みについて、報告させていただきます。

まず、図書館情報システムと電子図書館については、現行のシステムが令和６年１２月までの契約となっていて、その更新が迫っております。更新に当たっては、標準化したシステムであるクラウド

会 長

事務局

型への移行を考えておりますが、その期間が12箇月程度と見込まれており、どうしても年度またぐことになります。そこで、現行システムを1年間延長し、令和6年度にプロポーザルを実施して、令和7年12月の供用開始を目指します。

また、電子図書館については、国の交付金の条件で、年度をまたぐことができないことから、令和6年度に予算提案を行い、令和7年度の単年度の中でシステムと同時の稼働を目指していきます。

次に、新しい図書館のあり方については、最近、図書館に落ち着いた雰囲気の中で過ごせる憩いの場としての機能も求められていることから、居場所として先進的な取り組みを行っている亀山市図書館の視察を行い、前回の協議会で報告させていただきました。

施設の大規模な改修などのハード整備は難しいことから、ソフト面で取り組みを進めることとし、津図書館では、3月から1階の一部に飲み物コーナーを試行的に設けます。問題がなければ順次サービス範囲を広げていきたいと考えています。

また、会話のできる空間や「おはなしのへや」を活用した新たな利用者の取り込みなど、三重大学や三重短大の先生方と検討を進めていきたいと考えております。

続きまして、資料4-3をご覧ください。こちらは、第4回みんなのPOPづくりコンテストの受賞作品の一覧となっております。今年度は、令和5年7月14日（金）から9月8日（金）まで作品を募集し、724点の応募がありました。図書館職員による1次審査、子ども読書活動推進会議委員と一身田中学校の美術教員による2次審査を経て、42点の作品が決定しました。1月15日（月）から2月28日（水）まで津市内図書館で受賞作品と図書の展示を実施しております。また、市内の書店でも今後最優秀作品の展示をしていただく予定です。今年度の応募作品も昨年度同様、表紙や挿絵のデザインをそのまま描いている作品が多く見られました。学校で応募の場合は担当の先生にもお伝えすることにし、引き続き注意事項について具体的なイラストなども添えた例を示して説明した文書も配布していきます。

次に資料4-4をご覧ください。こちらは前回の図書館協議会で、委員の方からITを活用した広報の方法を学ぶ講座開催のご要望がありました。そこで、1月17日（水）にX（旧Twitter）/Instagram開設講座を開催しました。チラシは資料4-4になります。図書館職員が講座を担当し、図書館で活動するボランティアなど8名が参加されました。参加者の皆さんは早速ボランティア団体の情報を公開してみえました。今後もこういった手段を活用していただければと思います。

続きまして、資料4-5は、前回の図書館協議会でどの地区の方がどの図書館を利用されているか調べてみてとは、ご意見をいただきましたので、令和4年度の貸出し点数を元にして、各地区（ここでは中学校区）に分けて、図書館毎に貸し出した点数を示してあります。

昨年度、中学生がどの図書館を利用するのかを調べさせていただいた結果と、大きな変化はありませんでした。津地域では津図書館など、その地域の図書館の利用が多いのですが、南郊地区では久居ふるさと文学館であったり、豊里地区では芸濃図書館であったり、比較的近い図書館での利用が多くなっています。また、美杉地区は、施設規模が小さいためか、うぐいす図書館が多くなっています。少し面白かったのが、一番下の市外、つまり市内への通勤・通

学されている方については、津図書館が多いのですが、河芸図書館も次に多くなっています。鈴鹿市方面の方が利用されているものと思います。

会 長

令和5年度事業経過については、以上です。

ありがとうございました。令和5年度の事業経過についての報告が終わりました。内容の方たくさんありましたので、資料1、資料2からまず、ご質問、ご意見等はございませんか。

岸

岸と申します。いつもお世話になっております。マジックボックス、読み聞かせのグループで活動しています。早速なんですけども先ほどご紹介がありましたXとInstagramの開設講座というので、意見を取り入れていただきまして、1月17日に参加させていただきました。時間の関係でXの方だけ教えていただくという形で、一生懸命話を聞いて、やっとXの登録をさせていただいて、図書館さんのXもフォローさせていただきましたが、まだサッサと発信するまでできておらず、私たちの今後の課題と思っておりますが、意見を取り入れていただきまして、こんなに早く実現していただけるんだと思って感動しました。ありがとうございました。まずはお礼申し上げます。ありがとうございました。

会 長

ありがとうございました。資料1、資料2の方ではございませんか？

それでは大きな枠で資料3、資料4全てに渡って結構ですので、ご意見、ご質問或いはご感想等ありましたらよろしく願いいたします。

岸
会 長
岸

はい、すみません。

よろしく願います。

先に資料をいただきましたので、昨日慌てて見させてさせていただいた中で、色んなイベントをたくさん各図書館で取り組んでいただいているんだなというのがよく分かって、でもなかなか参加したくてもできない、仕事の関係もありますけども状況にありまして、なかなか図書館を活用するというのが、自分の中ではできていないんですけども、ただこういうポスターなんかで目にするという講座があるんだという風な形で、参加したくてもですね、時間の関係もあるんですけども、申し込みの方法がですね図書館のカウンター又は電話にて午前9時より開始ということなんですけども、これがやっぱりWebの方とかそういう枠を作って頂いて、カウンターや電話で申し込む方がいいと思う人もいると思うんですけど、やはりWebの方から簡単に申し込んで、できるようなそういう枠を作って頂けたらどうかと昨日は思いました。

また図書館の行事結果の中で、今年はNHKで「源氏物語 紫式部」が取り上げられておりまして、私も耳にはするけど中身を読んだことがなくて、読もうとしても昔の言葉で、全然わからないということでそこから意欲を失ってしまうという形ですけども、本当の初心者でもわかりやすいような入門編みたいな形で、自分はまず小学生向けのコミックから始めなければいけないかなと思ったりしたんですけど、意外に図書館で取り組んでおられるということを拝見しまして、ますます力を入れていただいて、興味を持った人が、まずは心を掴むようなことを、またいろいろと考えてしていただきたいと思いました。

源氏物語の宇治市にあります源氏物語の博物館に行ってきたんですけども、そういうところでプロジェクトマッピングだとか、投影コーナーで源氏物語を紹介するようなアニメみたいなものを観たん

会 長

ですけれども、ああいうものもこちらの方でも観させていただけると、大人だけではなくて、子どもさんも興味をもたれるかなと思いました。

事務局

ありがとうございます。まず申し込み方法ということで、直接カウンターとか、開館時間にお電話でという形だったんですけど、時間帯以外にWeb でしたら時間帯以外でも申し込みができる方法であれば、もう少し参加する人が増えるんじゃないかというご意見だったと思いますが、それも含めてどうでしょうか？

会 長

はい。申し込みの中で朝9時からスタートする時に、結構電話がたくさん鳴って、カウンターもそうなんですけど先着順の時にですね、かなりたくさん応募がある時がありまして、Web にした時にどの時点で受付をするかとかですね、そういった点を検討する必要がありますので、中で考えさせていただきたいと思います。

事務局
会 長
洞 口

ありがとうございます。
また宇治市のプロジェクトマッピングみたいなような、ああいう工夫ができるといいと思います。なかなかハード面な部分もありますので、また検討していただきたいと思います。

本の展示なりを工夫していきたいと思っています。

そのほかどうでしょうか？

はい、お世話になっております。「暮らしに役立つ図書館講座」の第1回目の「自分はどんな性格なの？」という講座に参加させていただきました。なかなか自分自身がどういうものなのかって、分かっているようで分かっていないんですけども、一つずつ分析していただいて、自分自身がどういうものなのかとよく分からしてもらった中で、やはり日頃生活している中では、なかなかそういう機会が少なかったが、こういう楽しい講座それからまた自分自身を変えていこうとする意欲を持たせてくださって、大変ありがたかったな、と思って日頃、自分の欠点はどんなものなのか長所は少ないですけど、変えていこうという機会をいただいたということでとても楽しかったと思います。

また津ではなく、久居館内とかもう少し場所を広げていただいたら、有難いです。白山からここまで出てくるのにだいぶ時間もかかりますし、近くでしたら久居ならまだまだちょっと楽ですし、また一志でも楽ですし、そういう風にして輪を広げていただいたら、お友達も誘いながら行けるので、よろしく願いしたいと思います。

会 長

すごく楽しい講座というか、興味、関心をそそるような講座、好評だった講座は色んな地域でも、何回かやってもらえるような方向であれば、皆さん楽しめると思います。

事務局
洞 口
会 長
山 下

考えさせていただきます。

お願いいたします。

その他、どうでしょうか？

はい、津子ども NPO センターの山下です。お世話になります。今のご意見と関連するんですけども、こういう講座はどうしても津図書館で開催して、広域の方がなかなか参加しにくいこともあると思うんですけど、オンラインで全部の図書館でなくてもいいんですけど、久居とか白山とか、数か所だけでもオンラインでつないで、近くの図書館で一緒に参加することが出来てきたら、色んな人に触れる機会を提供できると思ったりします。

それと資料3にあります IT 技術を利用したというところですけど、調べ物相談とか、利用者数のオンライン登録化する方向で考えているようですので、これからは自宅に居てとっかかりやすいとい

山 下

うか、そういうことを考えていくのは、子どもにとっても身近なことになってきますし、大事なことかなと思います。

それと資料3の裏面にありますように、図書館が居場所として求められているというのは、私も一番思っているところで、飲物コーナーの開設をやってみるということをお伺いしまして、すごく嬉しいなと思いました。ただハードを整えるだけではなく、居場所というのは、人が迎えてくれる雰囲気を作るのが一番難しいと思います。

そういったことを同時に自分自身が変わっていなければ、それは先ほどの人が変わるということとつながることでもありますけども、やっぱり図書館が緊張して入っていかなければいけない雰囲気だけではなくて、大事な面もありますけども、やっぱり気軽に行ける、崩すという意味ではなく気軽に行ける、みんなが集えるという場所になるという方向で考えられたらいいかなと思います。

会 長
事務局

はい、ありがとうございました。

講座などのオンライン化ですけども、確かに技術的には多分ズームとか使いながらですね、できるかと思うんですけど、どういう施設でということまでできるのか、そこまで十分把握できていせんので、図書館全てができるのかどうかはつきり今申し上げられせんので現状確認した上で、中で検討させていただきと思います。

よろしくお願いします。他どうでしょうか？

会 長
木 原

はい、よろしくお願いします。本当に色んな事業をしていただいでてすごいなと思って資料を拝見しました。

その中で JAXA の方が来ていただいて「キミのとなりにある宇宙」の講座、講演会ですかね、非常に興味深いものだろうと思うんですが、これは図書館内で企画されたのか、それとも外に向かっていうか、このあたりの講座が図書館に来ていただいた方を対象にしているのか、これで図書館に来ていただくツールなのか、それという部分がもう少し明確であって、例えばこの宇宙の話なんかは子どもたちにとっても興味があると思うので、これをきっかけに図書館にきていただく切り口でも良かったのかなと思いました。

それと資料2の久居ふるさと文学館の「サマー子ども講座（仮称）未定」というのは、これは実施されたということでもいいんでしょうか？その下の「図書館でゲームしよ！！未定」も今年度の事業報告で、12月末現在でいかがだったんだろうという素朴な疑問です。

それと資料3の中で山下委員も言われたように、図書館はこうあるべきという固定観念というのは、僕らもありますし、それを望んで来ていただく方もきっとおありになると思いますので、そのあたりのセパレートの仕方とか、ただ調査の中で確かにニーズがあるということです。図書館が変わっていくんだってことを外に向けて発信していかないとなかなか人が増えてこない、利用が増えてこないんじゃないかなと思いました。

あと資料4-5の令和4年度の実績で、西郊中学校区の貸出数が何となく多いなと思いますが、これはどういう風に何か分析とかありますか？以上でございます。

会 長
事務局

はい、ありがとうございます。いくつかありましたが答えられるところから結構ですので、順番にお願いします。

JAXA につきましては、図書館で PR させていただきまして、外に向けてですねホームページなどで、PR させていただきました。やっぱりこういうものをきっかけに、図書館に足を運んでもらいたい

事務局	という思いもかなりありましたので、展示も同時にさせていただきますので、今後も講演を考えております。
	図書館の中での居場所作りの関係で、確かに図書館はまだ静かにすべきだろうという考えも確かにあります。ですので中には会話ができる、おしゃべりができるようなところも欲しいという声もありますので、それは全てがおしゃべりできる形にはできませんので、場所を分けてとかですね、そういう形を検討していくことになるのかなと思いますし、これは今後の課題ですけど、これは今の方のご意見を伺いながら、一つずつでも進めていきたいなと思っています。
	（「サマー子ども講座、図書館でゲームしよ！！」について）すみません、久居の方に確認できるまで申し訳ございません。
	あと西郊中学校の数がですね、図書の数に合わせていますので、数としては間違っていないと思います。ただ地域の人口にもよるものかなと思いますので、西郊中学校ですと安東から片田から、かなり広範囲になってまいりますし、西が丘小学校の一部あたりも西郊中学校？
会 長 事務局	西が丘も一部、西郊です。
	そうですね、ですのでそういうところの人口も多分あるのかなと思います。
木 原	はい、いいですか。ものすごく読書習慣の強い地域があるのであれば、それが何故かというのがわかるのであれば、他のところもそうなるのかなという気がしました。もしかしたら小中の取り組みがそうなのとか、西郊だと比較的リージョンプラザに近いという立地なのかもしれないですし、そのあたり西郊地区はそんなに極端に人口が適合しなくて、その割には結構飛び抜けて貸出数が、その地域住民の方に多いというのは何でなんだろうという素朴な疑問なので、このあたりはアンケートとかで、うまく分析できればなと思います。また参考にさせていただきたいと思います。
会 長	確かに面積はものすごく広いと思いますが、人口的には小規模校がたくさんあるところなので、個々のそれぞれの中学校区の人口も併せて入れて、その内の何%かという分析もあると、この地域は人口に対して、たくさん通っている方が多いこともわかってくるかなと思うので、そういうところを切り口にしていくのもいいのかなと思いました。
教育長	年齢層、だから今言われたみたいに、子ども達、学校の取り組みとかで子ども達、学校と図書館を考えたらね、子ども達がというのがあるかも分からないけど、年齢層、どういう年齢層が多いのかというのは分かる？それは分からない？貸し出しの年齢層は分かりますか？
事務局 教育長	年齢層は分かります。はい。
	またそういうのも言ってもらえると、例えばある程度の年齢層がすごく本を読まれる方が多いかもわからないし、それは何でやろうというのもあるか分からないし、そういうのも一つの分析のきっかけになるのかな。
会 長	多分資料5の方で年齢層の本に興味があるなどの分析というか、数字が出てきたので、そこでまた詳しく教えていただければと思います。
事務局	先ほど、久居のふるさと文学館の事業なんですけど、すみません、今年度、事業として計画予定は無かったんですけども、削除を忘れておりまして、申し訳ございませんでした。

会 長	「サマー子ども講座」と「図書館でゲームしよ！！」この二つの講座については今年度は残念ながら、できなかったということでしょうか。
入 江	はい、それ以外でどうでしょうか？はい、お願いします。 はい、意見というか感想になるかもしれませんが、私が今入っているストーリーテリングで津を話す中で、展示に触れている方がみえまして、市民の方の展示のところで展示の絵本サークルの方が入っているよということで、私いつも展示ケースでいつも素通りしているか、チラッと見て終了という形だったんですけど、その方にそういうのが展示してある場所があるんだよと連れていってもらって、実際に見た後に広報津でしょうか、なんか展示してみませんかという広告が載っているのを見て「ああこういう風に広めているんだったら、結構使う人もいるのかな」と、あとグループをやっている身としては、こういうグループがあるんだよという紹介にもなるので「ああこういうの使える」いい試みだなと思いました。 あと資料3について皆さんからもお話が上がっていらんですけどやはり新しい図書館の在り方については、どんどん進んでいращやるようなので、これからの津図書館が楽しみだなという感想と、あとお聞きしたいんですけど、資料4－3のみんなのPOPづくりコンテストの結果を見させていただいたら、小学生におすすめしたい本の小学生の部が殆ど豊ヶ丘小学校だったので、これは若干動かししている学校で差があったのかなということと、あと私、ストーリーテリング以外にも、まだ子供が高校と中学なので、地域ボランティアとして小学校、中学校とも3校入らせていただいているんですけど、司書の先生からそういうお知らせがなかったんですね。津図書館からのお知らせを見て、こういうのがあったと終わった後に知ったという形だったんで、是非学校側からもぜひ生徒さんや児童たちにアピールしていただけたら良かったのかなという感想です。
会 長	ありがとうございます。私も学校関係者なので、どうしても読書感想文については、全校的に取り組んでいるんですけども、POPづくりコンテストになると、学校の図書館担当の先生方によって、温度差が激しいかなというところがあります、その部分についてはつくづく学校側としては反省しているところがあるんですが、確かに豊ヶ丘小学校の図書館担当者、多分自分はその方かなというふうに思っているんですが、かなり積極的に取り組んでいるところがありますので、そういうところが反映しているのかなと思いますので、この件につきましては、学校関係の方でもいろいろ周知していきたいなと思っています。
事務局	事務局の方はどうですか？ 展示につきましては、広報の折込の図書館タイムズに掲載させていただいておりまして、まだ若干空きがございますので、もしよろしければご応募いただければ、まだ展示できます。
会 長 和 気	他どうでしょうか？ 三重大大学の和気です。すでに他の方々からの資料3の新しい図書館のあり方について、多々ご意見が出ていたと思うんですけど、私も新しい図書館のあり方についてコメントなんですけど、これから飲物コーナーを試行されるということで、アンケート結果を見ますと15ページの本の分析の中にも、10代で飲み物や会話のできるスペースを求める割合が多いということで、こういったエビデンスを厳選しながら今後の方針ていうのを立てていращやる、非常にニーズと方向性がまさに合致してあるところにあるのかなと思います。

した。

私事なんですけど、先週の土曜日に東京都武蔵野市にあります武蔵野プレイスという、複合施設型の文化施設なんですけど図書館機能とその他3つの機能を持った複合施設型の生涯教育施設でして、そちらで講演の機会がありました。まさに居場所としての図書館とか、市民の対話の場として、集いの場としての図書館機能をこれからどうやって拡充していくか、みたいなのがテーマだったんですね。

その時に会場となった武蔵野プレイスの利用状況を見せてもらったんですが、目からうろこで、というのもヤングアダルト世代、10代が一番利用率が高いんですね。その他の世代についても割と万遍のなく利用があって、驚異的なあんまり他では見たことのないような利用構成だなと思いました。

武蔵野プレイスの館長にお話を伺ったところ、やはり10代の利用を増やすためには、やはり10代にとっての居場所として図書館を利用してもらうためには、飲食に関するルールを緩和していくのはマストですよ、という話を言っていました。ですので今後ヤングアダルト世代の利用を増やしたいことであれば、飲み物コーナーを設けるというのは、非常に他館の前例から見てもおそらく、こういう方向性が必要なのかなということを、他館の事例からも思った次第です。

あと武蔵野プレイスで従来の公共図書館ですと、オープンスペースといいますか、テーブルと椅子を置くようなスペースというのは、空いているスペース、動線が交わらないような空いているスペースに置きがちだったところを、あえて動線がクロスするところにもってきているという、それによって居場所性が高まる、色んな世代が図書館の良さとしてクロスする場所でもあるので、そこへ色んな人たちのコミュニケーションの場になっているという発信もあって、館内の導線を見直す中で、これから飲み物コーナーを作られるということで、動線とあと館内の賑わいとあまりにうるさすぎるのであれば、動線も改めて検討して飲み物コーナーの位置であったり、オープンスペースの位置であったりを検討するのも一つなのかなと思いました。

あとそうですね、ハード面での整備は今後難しい。あとソフト面での取り組みを進めていくというふうにありますけど、ソフト面でもできることはたくさんあるのかなと、例えば一つには、図書館という名前が良くも悪くもですね、そこに人が抱くイメージ、固定化しているイメージというのがあると思うんですね、そこを今一度、これからはそう図書館という名前を継続させていくのか、或いは何か新たなネーミングを付けていくのか、或いは図書館の名前を維持しながらも、新たなコンセプトを打ち出していくのかというあたりを、例えば市民の方々とワークショップを開いたりして、そのブランディングと一緒に考えていくとかという、ソフト面で取り組むことができることの一つなのかなということ。

あとはヤングアダルト世代の利用をこれから増やしていく中で、運営に10代に関わってもらう、これは先ほどの事例の武蔵野プレイスでまさにやっていることらしいんですけども、館長の前で10代の利用者を10人ぐらいランダムにお願いして、図書館の気に入っているところと、これからどう改善していったらいいのかというのを、10代にプレゼンをしてもらうという機会をつくっているらしいんですね。そういう形で10代の運営への参加という形で、ソ

会 長

フト面でも、まだまだできることがたくさんできることがあるんじゃないかなと思いました。すみません、長くなりましたが以上です。

事務局

ありがとうございます。先進的な施設からいろんな参考になるようなことをたくさん教えてもらって、ありがとうございます。

事務局の方からもしあれば？

会 長

先ほど10代の運営について、直接じゃないんですけど三重短大の先生といろいろこれから話をしていくんですけど、学生さんたちを巻き込んだ形ですね、できたらしていきたいと思っています。

ありがとうございました。時間の方がだいぶ過ぎてきたので先にもう、(2)のアンケート結果中間報告についての方にいかせていただいて、また後でまとめてご意見等をいただきたいと思いますので、事務局の方それでは説明をお願いします。

事務局

それでは津市図書館利用に関するアンケート結果中間報告について、ご説明いたします。資料5をご覧ください。事前にお配りした資料の中で18ページの電子図書館に関する帯グラフに誤りがありましたので、修正したものをお配りしております。

前回の図書館協議会でも報告いたしましたが、津市図書館では本年度アンケート調査を実施しました。今回「中間報告」とさせていただいているのは、結果報告はある程度まとまりましたが、今回の図書館協議会でのご意見も含めて、最終的な報告を作成したいと考えております。

まず、1ページをご覧ください。1 調査目的として、図書館利用者の利用実態などを把握してサービス向上を図る資料とするため実施しました。

2 調査方法では、9館2室の図書館以外に、普段図書館を利用されない方の意見を求めて、公民館であったり、若い世代の意見を把握するためにWebでもアンケートを実施しました。

アンケート期間は令和5年6月21日から7月10日で、最終的に2,189件の回答がありました。内訳以下のとおりです。

2ページをご覧ください。まず、調査結果報告の構成の説明ですが、冒頭にアンケート問の内容があり、次に集計結果の表があります。集計もアンケートの全体分、津市図書館の回答分、Webの回答分、公民館の回答分となっています。その下に円グラフを載せて視覚的に分かり易くしています。最後に分析結果を文章で記述しておりますが、若干レイアウト上前後する場合もございます。

改めて2ページは、回答者の年齢です。回答者の年齢は全体で60才以上が半数以上を占めており、ヤングアダルト世代を含む10代7.1%や20代は3.7%といずれも10%以下と少なくなっています。

次に3ページをご覧ください。居住地です。居住地は各地域ごとの人口と近い割合となっています。

6ページをご覧ください。よく利用される図書館を聞いております。居住地の割り合いで津地域は51.5%でしたが、最もよく利用する図書館の割合では津図書館は30.6%に留まっています。

8ページをご覧ください。利用時間帯を聞いております。午前中に利用される方の割合が多く、15時以降は利用が急に減ります。図書館の現場での感覚と同じ状況です。

10ページをご覧ください。図書館を利用される目的を聞いております。図書館の一番の役割である本や雑誌の貸出・返却、閲覧などで約8割以上を占めています。

事務局

11ページは年代別の利用目的を比較しています。10代は自習などのために学習室を利用する割合が高く、20代は他の世代と比べて本の閲覧の割合が多くなっています。30代・40代になると本や雑誌の貸出しの割合が比較的高くなり、50代から70代では貸出し・返却が減って新聞や雑誌の閲覧が増える傾向があります。

13ページは今後図書館にどのようなサービスに力を入れて欲しいかという問いになります。新刊書や専門書など図書の種類を充実させることや、話題の本や予約本を早く提供できるように、とする回答が約4割を占めました。その他には電子書籍の導入や館内で飲食などができるスペース、無人の貸出し・返却を求める声がありました。

年代別では10代では飲み物や会話のできるスペース、20代は電子書籍（図書館）サービスが多く、30代・40代では児童サービスの充実、50代以上では新刊書と専門書などの充実を望んでいます。

次に17ページをご覧ください。電子書籍サービスの利用希望を聞いています。利用したい割合は全体で半数を超えています。年代別では10代から50代まで電子書籍を利用したい割合は6割から7割と高くなっています。

19ページの上は Web 利用者の電子書籍の利用希望で約7割の方、下は普段図書館を利用しない方の利用希望で約6割の方となっております。特に普段利用されない方も、潜在的な利用者として、電子書籍が導入されれば、利用に繋がる可能性があります。

20ページは図書館を普段利用されない方にその理由を尋ねています。本は自分で購入したり、インターネット情報で十分とする理由が4割と多かった。本を返すのが面倒だという方には、電子書籍は返す手間がいらないので、利用につながる可能性があります。

最後に自由意見として、413件のご意見がありました。運営に関する意見が最も多く、例えば貸出期間の延長や開館時間の延長がありました。その他、新刊書などの充実や電子書籍の導入のほか、自動貸出機の導入や自習室の席を増やして欲しいなどの意見がありました。

現実的は難しいものも多いのですが、取り入れられるものは少しずつでも取り上げて実現していきたいと思います。

次のページ以降に、各館などに寄せられた意見に対して回答を付けさせていただいております。単に普段のお礼だけだったり、意味が不明なものや重複するものは除かせてもらっていますが、できる限り回答はさせていただいております。説明は以上になります。

会 長

ありがとうございました。アンケート結果中間報告についての報告が終わりましたので、これにつきまして、ご質問ご意見ありましたらよろしくお願いいたします。

岸

はい、すみません。アンケートの中で職員さんの中でも良くしてくださる職員さんもいるけど、対応がていうふうなお声もあったんですけど、私も対応がちょっと悪いというのを時々聞くんですね。そこにはご利用される方への接遇研修というお答えがあるんですけど、どういう風な接遇研修を具体的に受けてみえるのかとか、教えていただければと思います。

会 長
事務局

お願いします。

私も実際に直接研修を受けてはないんですけど、今年の1月下旬だったと思いますけど、会計年度任用職員も含めた職員研修で、そこで接遇の研修を受けさせて、全部ではないんですけど全部の職員

会 長
岸

が行ってしまうと図書館が空になってできませんので、今回は5，6人ぐらい行かしていただきました。

その中で自分たちがやっているようなことと違うなという感想もありましたので、確か接遇のプロの方が来て一からお話をいただいていると風にきいておりますけど、すみません、細かい内容まで申し上げられないんですけど、そこまで把握してございません。

よろしかったですか。

接遇研修を受けられた方が、どういうふうに変えていただけるか分かりませんけども、私たちも資料とか本に関して一生懸命答えてくださるという形はよろしいんですけど、無表情で淡々と図書館の特徴なのかなとか、やはり他のコンビニみたいに「いらっしゃいませ」という風にはいかないと思いますので、静かに言ったつもりで迎えていらっしゃる方もいれば、いろいろだと思うんですけど、やっぱり一つ皆さんおっしゃるには、にこやかに迎えていただきたい。

笑顔はプライスレスとかって広告もありましたけど、やはり目を合わせてですね、言葉は無くてもいい感じでおっしゃっていただきたい、していただきたいというのもありますし、常連さんと、たまに來た人とか、初めて來た人とか、いろいろいらっしゃると思うんですけど、初めて來た見かけない人ほど丁寧に対応をしていただけると、またこちらへ來ようかなて、どれがきっかけになるか分かりませんけれども、そういったことも大事なのかなと思いました。

会 長
事務局

はい、お願いします。

確かに津図書館で、そういった声を時々伺います。一つには数が多くてですね、たくさん並んでしまった場合には、結果こなさなければならないという思いも確かあると思うんですけども、おっしゃられるように笑顔が一番大事かなと思いますので、これは中で共有させていただいて心掛けるようにしたいと思います。

会 長
和 気

よろしくお願いします。その他どうでしょうか？

はい、伺います。

20ページの電子図書館の利用希望の有無についてなんですけど、利用したい方が全体の63.5%いらっしゃったということで、このあたりの結果というのは、先ほどの資料3の令和5年の事業報告の中でも、令和6年度予算提案を行っていくお話ありましたんで、その時なんかはこのエビデンスというのは使っていけるかなと思いました。

あと電子図書館関係でいうと、学校との連携、GIGAスクール構想等との関連でどうやって活用していけるのかというあたりを、こういったデータと合わせて提示していけると、導入という話に結びついていくのかもしれないな、ということを思った次第です。その際に近隣でいうと四日市市立図書館が、小中学校と連携して電子図書館サービスの提供を今年度10月から始めていますので、小中学校にどうやって電子図書館のアカウントを配布していくのか、ノウハウの蓄積もあると思いますし、そういったところの事例を参考にしながら、予算提案を盛り込んでいけるかなと思いました。以上です。

会 長
事務局

ありがとうございました。はい、お願いします。

ありがとうございます。電子書籍の需要があるということは確認さしてもらいましたし、また学校との連携につきましてもですね、例えば伊勢市さんでは小中学生皆さんにIDパスワードを渡してですね、誰でも使えるようなことをされていますので、何らかの形で

事務局
会 長

木 原

この津でも利用できる形を考えていきたいと思っています。
よろしく願います。他どうでしょうか？
はい、願います。

ハードは無理だという前提があるので、これを言っているのかどうかなんです、自由な発言だと思ってきてもらったらいいかと思います。ヤングアダルト、中高生に読書とか本に触れてもらうためには、中高生の生活動線の中に図書館というスペースがないと難しいんじゃないかな、居場所という話もありましたけど、彼たち彼女たちの動線の中に居場所を置いてあげるのは必要なんじゃないかなと思って、特に高校生であれば多くの高校生が使う駅周辺に、ここが津新町駅から近いかどうかというのは、いろいろあるかと思いますが、例えば津駅の再構築の中で、そういうスペースが何らかの形で、この津図書館の分館みたいな形で、書籍はそんなにないけど、企画展示だけしてあって、ちょっと読んだりとかくつろげる場所が何らかの形で用意できると、中高生と本との接点になるんじゃないかなと思います。その生活の動線上に図書館を置いてあげるというのは、必要なんじゃないかと思います。あのハードは難しいということでしたので言うのをちょっと躊躇しました。一応それは充分無理だと理解した上での発言です。

あと利用時間が、混む時間と混まない時間があるというアンケート調査なので、例えば利用年代も多分きつと、この時間帯はこの年代なんだと多分明確にあると思うので、例えば夕方の時間帯というのは、比較的10代の方を取り込みやすいように、この時間帯から先はおしゃべりしても大丈夫な図書館ですと、時間によってできるかどうかは別にして、時間によって打ち出せると、それがいややなて思う人は午前中にご利用いただくし、それがいいなと思う人というか、中高生は基本的に学校があるので、利用できるのも多分3時以降としか多分無理だと思うので、何か時間軸でセパレートしていくというのでもいいのかなと思います。また、参考にしてください。

会 長
事務局

貴重な意見をありがとうございます。

はい、確かに会話ができるスペースなんかは、エリアごとにしかイメージが無かったんですけど、今いただいた時間軸というのも有効なのかなと思いましたので、これらも含めて検討していきたいと思います。

会 長

その他どうでしょうか？よろしいですか。また後で、もしありましたら願います。それでは最後に事項書3のその他の事項にいきたいと思いますが、何かございませんでしょうか？

洞 口

はい、願います。

申し訳ないです。私皆さんのお話聞いていても、なかなか専門的なことが理解できないところがあるんです。何でて言ったら、一市民として図書館を利用させていただいていますので、次元の低いところからの話になってしまうんです。

今回で最後ということのお話を聞かしていただきまして、2年間、この場に座らせていただきました。最初から今日までやっぱり場違いの席に座らせてもらっているな、ていうのが強い印象なんです。でも公募で推薦していただいたからには、やはり何かの形でお役に立ちたいなていうことと、申し訳ない気持ちがそういう風に変わってきました。

先に資料をいただきましたので、まとめてきました。以前よりずっと多く図書館に足を運ばせていただくことになったんです。あるときはやはり新聞等で共通の記事があれば、切り取ったりまたネ

洞 口

ットで検索したりして、私自身のわずかですけど、いい広い知識を得ることができました。本当にありがたく思っています。

例えば図書館学の5原則は全く無縁だったんですけど、何かまあ本当に大げさですけど、そういうことに触れたりして理解させていただくことができました。

そのようにこういう席をいただいて、私を導いてもらったと思うんです。また亀山市の図書館を発表させていただいて、足も運んでいただきました。その後に新聞において、中日教育書を受賞するという亀山市図書館活用アドバイザーの表彰式を見て、やっぱりなという感想がありました。

また学校図書館や教室に新聞紙を2紙以上置いてはどうかなのかという発言もありました。

移動図書館へのみんなの声も出てました。今もおっしゃるようにやはりその場所、その場所に集えないとか、大きいところには集えない、小さいところで移動図書館をつくって、また震災で皆さんが共同で生活なさってみえるところにでも、少しでも図書館の本を置いたりとか、そういう風な関係もありがたいなと思いました。

図書館活用に対する私自身の変化に驚いています。暮らしに役立つ図書館講座に出してもらって、自分としてはすごく積極的にこういう場において、話をさせていただけることが自分自身を変えていく場においては、とても嬉しいことだと思っています

日頃の自分の自己分析に、大変役に立たせてもらったという講座を受けて、そう今思わしてもらっております。

このような専門の方々の中に、ちっぽけな存在ですけど話させていただけることが、とてもありがたいとか感謝の気持ちでおらしてもらいまして、2年間の感想を述べさしてもらいました。ありがとうございました。以上です。

会 長

こちらこそありがとうございました。

様々な立場の方が入って頂いて、そういう風に関心、興味が高まっていったらけると、図書館協議会というか、図書館の方も本当にありがたいと思います。

洞 口
会 長

そうでしょうか、不安なこともあるんですけども。

先ほどの色んなアドバイスも貴重なご意見だと思いますので、事務局の方はよろしかったでしょうか？

事務局
会 長

はい。

その他の項目で、その他全体に関わってどうでしょうか？

事務局の方、ありますか？

事務局
会 長

特にございません。

それでは終了という形でよろしいでしょうか？

他にご質問、ご意見がなければ、これで終了させていただきます。今後も、より良い図書館の実現に向け、協議していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局の方からご挨拶があればよろしくお願いします。

事務局

本日は大変貴重なご意見たくさんいただきましてありがとうございました。頂戴いたしましたご意見を参考に、引き続き図書館運営に鋭意努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

会 長

本日はどうもありがとうございました。

これをもちまして、令和5年度第2回津市図書館協議会を閉会いたします。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。